

第4章 今後の研究・開発課題

第4章 今後の研究・開発課題

第1節 今後の研究・開発課題

平成13年度に実施したアンケート調査及びその分析により身体障害者の職域拡大のパターンが前章で明確にされた。今後この結果をもとに、これら職域拡大について障害者職業能力開発施設での現状と課題について検討を進める。

職域拡大のパターンには、要件として新卒者としたものや、職業経験の必要から在職者が該当する場合が挙げられる。また、求職者についても、前職や能力要件により職業経験が重要な要素であり、これを確認するための本人への面談及び相談等も重要な指導要件となることが分かった。新規成長分野（情報通信関連、医療・福祉関連、流通関連）において絞り込みされたコース候補それぞれについて、具体的な能力開発コースの設置に向け、身体障害者雇用の需要サイドである企業側のニーズ、および供給サイドである能力開発施設での能力開発実施可能性の両面から、これらについて総合的な検討を行う必要がある。

第2節 平成14年度の具体的な研究・開発テーマ

2-1 第二次新規成長分野関連企業調査

新規成長分野関連企業に対する詳細ヒアリング調査を行い、職域拡大のパターンについて、対象職種、対象障害特性及び必要とされる受講要件から導き出された「能力開発すべき職種絞り込み」それぞれについて、新卒者、求職者、在職者の能力開発ニーズ・能力開発実施意義の検証、雇用実現に向けた能力開発要件、およびその他の付帯条件の明確化する。

2-2 障害者職業能力開発施設調査

障害者職業能力開発施設19校に対するヒアリング調査を行い、身体障害者の雇用実現に向けた具体的な訓練内容、訓練実施上の課題、条件整備等を明らかにする。

- ・現在のコース設定との比較
- ・能力開発コースの可能性と具体的な訓練内容
- ・実施上の課題
- ・条件整備

2-3 能力開発コースの検討

これらの調査分析から障害特性を考慮した新規成長3分野における身体障害者向け能力開発コースの検討を行い、提言をまとめることとする。